

市民の健康と命を守る『社会インフラ』

地域医療を守ろう

総力で必ず!!

党市議団実施のアンケートに寄せられた声

- ゴールデンウィーク明けなのに、外来患者は閑散。収益は相当落ち込んでいる。
- 緊急対応が必要でも、コロナ感染を疑いながら対応するのが困難。
- 4月だけで6割減収…雇用調整交付金の活用を検討中。
- 医療にお金を使ってほしい。マスク・防護服・手袋など今すぐ欲しい。
- 外来は2〜4割減少。この状態が続けば、閉院する診療所が増えると思います。
- こういうアンケートはタイムリー。声を聴いてほしい。
- 超党派で勉強会をやってほしい。無料で講師を引き受ける。
- 防護備品がない下で、唾液によるPCR検査をどんどん導入してほしい。
- 国も自治体も、PCR検査の拡大に財政措置をしてほしい。
- PCR検査センターを地域に設置すべき。私自身も「陰性」を確認して、安心して、患者さんに接していきたい。
- これらの声にこたえる政治の役目がいま問われているのではないだろうか。

「19万6千の市民の生命と財産を守る」と話す市長のFacebook…あなたはどう思いますか。。。

市長として極めて妥当なご見解かと思えます。ところで医療体制の充実についてですが、現在、流山市には新型コロナ感染症を治療する病院は皆無と聞いております。松戸市立総合医療センターがその任をカバーしているとのことですが、透析ベッドはない由。不幸にして、もし市内の透析患者に感染者が出た場合、如何なる対応をとられるご所存でしょうか？

いいね! · 返信する · 3日前



井崎 義治

さん、千葉県内では、透析対応可能な感染症指定医療機関に指定されているのは、成田赤十字病院や千葉大学医学部付属病院等の腎臓内科で感染症病棟と連携して対応します。保健所が透析のコロナ患者がそうした病院の何処に入院するかを調整します。市内や近隣にはありません。

いいね! · 返信する · 3日前



小田 桐たかし

日本共産党 流山市議会議員

党市議団は、市内の5つの基幹病院「支援」として5億円の補正予算修正案提出を準備しています。。。